

## 令和2年度シラバス (地理歴史)

教科(科目)	地理歴史 (日本史B)	単位数	4単位	学年(コース)	3学年(必修)
使用教科書	清水書院『高等学校 日本史B 新訂版』				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

国際社会を生きる日本人として、国際人としての自覚を身に付けるため、日本の歴史の全体像を世界との関わりの中でとらえ、その特色を認識し理解できる広い視野に立った歴史的思考力を身に付ける。  
歴史の流れや歴史上の意義を理解し、関連する資料を駆使してできごとの因果関係や相互の関連を論理的に考察する能力と、問題意識を身に付ける。

## 2 指導の重点

教科書だけでなく、地図や年表などさまざまな形態の情報を活用して、歴史を学ぶための知識と問題意識、事象の因果関係を理解する論理的思考力を育成する。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	日本文化のあけぼの	教科書 その他プリント	・旧石器時代～弥生時代	12	○授業態度 ○課題のとりくみ
5	古代国家と東アジア 古代国家の成立と都城 1学期中間考査	教科書 その他プリント	・大陸文化の摂取 ・大和政権の成立 ・律令国家の成立と文化の形成	16	○授業態度 ○課題のとりくみ ○考査
6	古代国家の推移と社会の変化 中世成立期の社会と文化 武家政権の成立と鎌倉文化 室町幕府と北山文化	教科書 その他プリント	・平安中期までの政治・文化 ・武士の発生と荘園の成立 ・古代国家の解体 ・武家社会の成立～鎌倉幕府の滅亡 ・南北朝動乱～応仁の乱直前までの中世社会	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
7	1学期期末考査 下克上の社会と庶民	教科書 その他プリント	・応仁の乱と中世社会の崩壊 ・庶民の台頭	8	○考査 ○授業態度 ○課題のとりくみ
8	夏休み課題		高校の地理歴史科の授業を受けるために必要な基礎知識を課す		○課題のとりくみ
9	織豊政権と桃山文化	教科書 その他プリント	・ヨーロッパ世界との接触 ・織豊政権の成立及びその特色と推移	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
10	幕藩体制の成立と鎖国 幕藩体制の展開と元禄文化 2学期中間考査	教科書 その他プリント	・幕藩体制の成立と推移 ・鎖国 ・幕藩体制の安定	16	○授業態度 ○課題のとりくみ ○考査

11	幕藩体制の動揺 開国と明治維新 立憲国家の成立 近代産業の発展	教科書 その他プリント	・幕藩体制の動揺 ・外国船の来航 ・黒船来航の影響 ・幕藩体制の崩壊 ・国会開設と自由民権運動 ・日清戦争～日露戦争 ・産業革命	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
12	2学期期末考査 第一次世界大戦	教科書 その他プリント	・第一次世界大戦	8	○考査 ○授業態度 ○課題のとりくみ
1	政党政治の発展 軍国日本の形成 と第二次世界大 戦	教科書 その他プリント	・政党政治と大正デモクラシー ・世界恐慌と軍部の台頭 ・中国侵略と日中戦争 ・第二次世界大戦と敗戦	12	○授業態度 ○課題のとりくみ
2	占領下の日本 日本の独立回復 経済大国への道 現代の世界と日 本	教科書 その他プリント	・民主化と占領下の政治 ・経済再編と55年体制 ・高度経済成長とその課題 ・冷戦の終結と55年体制の崩壊	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
3	学年末考査	教科書 その他プリント		4	○考査 ○課題のとりくみ

計 140 時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

・考査の取り組み方は、教科書とノート（あるいは授業プリント）を読み返し、重要な語句とその意味を覚え、時代の推移を理解する。  
 ・適宜、ノートあるいはプリントを課題として提出する。  
 ・授業中の発問、あるいは作業プリントの提出。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に探求する姿勢を持っている。	歴史的・地理的事象の形成の過程と地域的特色を世界的視野に立って多面的に考察し判断する論理を対話的に理解して適切に表現できる。	歴史的・地理的事象の形成の過程と地域的特色を世界的視野に立って多面的に考察・判断し、これを論理的に表現できる。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し目的に応じて選択し活用できる。また、他者の考察における論理を読み解き、適切に評価して自らの考えの構築に活用できる。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し目的に応じて選択し活用できる。また、他者の考察における論理を読み解き、適切に評価して自らの考えの構築に活用できる。
以上の観点を踏まえ、 ・①授業の取組（授業態度・発表や討論の様子・学習活動への参加状況等） ・②提出物などの内容 ・③小テスト、授業プリント ・④定期テスト などから、総合的に評価します。				

#### 6 担当者からの一言

歴史を学ぶに際して、この事件や時代変化は何故生じたのか?のような「何故」という想いを常に持って欲しい。予習・復習の方法・授業の受け方については適宜指示するが、わからないことはいつでも相談に来ること。大学や短大志望者には個別に指導をする。

(担当：小林)

## 令和2年度シラバス (地理歴史)

教科(科目)	地理歴史 (世界史B)	単位数	4単位	学年(コース)	2学年(必修)
使用教科書	山川出版社『高校世界史 改訂版』				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

歴史的事象を多くの国との関係の中でとらえ、グローバルな環境の中に位置付ける事のできるよう、多面的で広い視野に立った思考力を身に付ける。

## 2 指導の重点

地図や年表などさまざまな形態の情報を活用して、歴史を学ぶための知識と問題意識を育成する。

- ・各地域における歴史の流れの把握を目指す。
- ・他地域の事象との関連性の理解を目指す。
- ・社会の変化における様々な事象の因果関係の理解を目指す。

## 3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	オリエントと地中海 アジアの古代文明	教科書 その他プリント	○古代オリエント世界 ○ギリシア・ローマ ○南・東南アジアの古代文明 ○中国・アメリカの古代文明	12	○授業態度 ○課題のとりくみ
5	内陸・東アジアの形成 イスラーム世界の形成 1学期中間考査	教科書 その他プリント	○北方民族の活動 ○東アジア文化圏の形成 ○イスラーム帝国の成立 ○イスラーム世界の発展	16	○授業態度 ○課題のとりくみ ○考査
6	ヨーロッパ世界の形成 内陸・東アジア世界の展開	教科書 その他プリント	○東西ヨーロッパ世界の成立 ○西ヨーロッパ中世世界 ○トルコ化とイスラーム化 ○東アジア諸地域の自立とモンゴル帝国	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
7	1学期期末考査 アジア諸地域の繁栄	教科書 その他プリント	○東アジア世界の動向 ○トルコ・イラン・インド・東南アジア世界	8	○考査 ○授業態度 ○課題のとりくみ
8		夏休み課題	○高校の地理歴史科の授業を受けるために必要な基礎知識を課す		○課題のとりくみ
9	近世ヨーロッパの形成	教科書 その他プリント	○ヨーロッパ世界の拡大 ○ルネサンス・宗教改革	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
10	近世ヨーロッパの展開 2学期中間考査	教科書 その他プリント	○重商主義と啓蒙専制主義 ○ヨーロッパ諸国の海外進出	16	○授業態度 ○課題のとりくみ

11	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展	教科書 その他プリント	○産業革命とアメリカ独立革命 ○フランス革命とナポレオン ○ウィーン体制とヨーロッパの再編 ○ラテンアメリカ諸国の独立、アメリカ合衆国の発展	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
12	2学期期末考査 アジア諸地域の動揺	教科書 その他プリント	○オスマン帝国の衰退と西アジア諸地域の変動 ○南アジア・東南アジアの植民地化、東アジアの動揺	8	○考査 ○授業態度 ○課題のとりくみ
1	帝国主義とアジアの民族運動	教科書 その他プリント	○帝国主義の成立と列強の情勢、世界分割と列強の対立 ○アジア諸国の改革と民族運動	12	○授業態度 ○課題のとりくみ
2	二つの世界大戦 冷戦と第三世界の独立	教科書 その他プリント	○第一次大戦とロシア革命 ○ヴェルサイユ体制下の欧米 ○アジア・アフリカ民族主義 ○世界恐慌とファシズム諸国 ○第二次世界大戦 ○戦後世界秩序の形成 ○冷戦の激化 ○第三世界の台頭 ○石油危機	16	○授業態度 ○課題のとりくみ
3	現代の世界 学年末考査	教科書 その他プリント	○社会主義世界の変容 ○途上国の民主化 ○地域紛争と貧困の深刻化	4	○考査 ○授業態度 ○課題のとりくみ

計 140 時間 (50 分授業)

#### 4 課題・提出物等

- ・考査の取り組み方は、教科書とノート（あるいは授業プリント）を読み返し、重要な語句とその意味を覚え、時代の推移を理解する。
- ・適宜、ノートあるいはプリントを課題として提出する。
- ・授業中の発問、あるいは作業プリントの提出。

#### 5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に探求する姿勢を持っている。	歴史的・地理的事象の形成の過程と地域的特色を世界的視野に立って多面的に考察し判断する論理を対話的に理解して適切に表現できる。	歴史的・地理的事象の形成の過程と地域的特色を世界的視野に立って多面的に考察・判断し、これを論理的に表現できる。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し目的に応じて選択し活用できる。また、他者の考察における論理を読み解き、適切に評価して自らの考えの構築に活用できる。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し目的に応じて選択し活用できる。また、他者の考察における論理を読み解き、適切に評価して自らの考えの構築に活用できる。
以上の観点を踏まえ、 ・①授業の取組 (授業態度・発表や討論の様子・学習活動への参加状況等) ・②提出物などの内容 ・③小テスト、授業プリント ・④定期テスト などから、総合的に評価します。				

## 6 担当者からの一言

歴史を学ぶに際して、この事件や時代変化は何故生じたのか?のような「何故」という想いを常に持って欲しい。予習・復習の方法・授業の受け方については適宜指示するが、わからないことはいつでも相談に来ること。大学や短大志望者には個別に指導をする。

(担

当：小林)

